

第1回 みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会 議事録

○日 時 令和5年7月6日(木) 午後7時03分～午後9時30分

○場 所 みどり市役所 教育庁舎 3階 第1会議室

○出席者

【みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会委員】14名

委員長	田口 和人
副委員長	清田 敏治
委員	鈴木 孝明
委員	新井 博介
委員	塚越 均
委員	備海 忍
委員	春山 寛之
委員	富所 哲平
委員	村田 紀子
委員	須田 敏之
委員	黒澤 寿一
委員	大澤 智
委員	高草木 良江
委員	穴倉 淳一

【みどり市教育委員会】 8名

みどり市教育委員会	教育長	保志 守
みどり市教育部	部長	金高 吉宏
教育総務課	課長	正田 一仁
学校教育課	課長	神山 亮一
教育総務課	課長補佐	長澤 伊知郎
学校教育課	課長補佐兼指導係長	小暮 真美
教育総務課施設係	係長	井本 一弘
学校教育課教職員係	管理主事	日置 潤

【報道機関】 1社

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後7時03分]

2 委嘱状等の交付

- ・ 保志教育長から委員へ委嘱状を交付

3 教育長あいさつ

- ・ みどり市教育委員会 教育長 保志 守
皆様、こんばんは。

本日は、お忙しい中、みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会の第1回委員会にご出席いただき、ありがとうございます。また、皆様方におかれましては、日頃より教育行政の推進に多大なるご尽力とご理解をいただいておりますことに改めて感謝を申し上げます。ただいま代表受領という形で委嘱状を交付させていただきましたが、14名の委員の皆様には、今後大変お世話になります。

さて、みどり市において、学校適正規模・適正配置について取り組んできたことは皆様もご存じのことと思いますが、これまでは小規模化した小学校の統廃合、あるいは義務教育学校への移行、そして、大規模校については分離新設ということで笠懸西小学校を新たに開校したということになります。このことによって、現在、一区切りついたところではありますが、少子化についてはこれからも続くことが懸念され、これから新たに小中学校の小規模校化が進んでいくという見込みもございます。

みどり市の児童生徒数を見ますと、昭和57年の小学校児童数は5,000人を数えていましたが、約40年経った現在、令和5年度については、2,335人と半数以下に変化してきました。また、みどり市の特徴として地域ごとに児童生徒数の差があるということがあります。そして、これからもその差が大きくなっていくという予測となっています。

子どもたちに適切な教育環境、質の高い学校教育を提供することが行政の努めでありま。小規模校化や地域の差によって影響を受けることは間違いないため、早い段階で何らかの手立てを講じなくてはいけないということに至り、今回新たに適正規模・適正配置の委員会を立ち上げたということになります。そして、この後小中学校における学校適正規模、将来を見据えた学校適正配置の在り方、少子化に対応できる魅力ある学校づくりなど、多岐に渡る視点に基づき、みどり市全体を見極めながら、検討いただくこととなります。

各委員の皆様には、それぞれのお立場から専門的な知識や経験を生かしながら忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。大変な任ではございますが、どうぞよろしくお願いたします。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

4 自己紹介

- ・委員及び事務局自己紹介

5 会長及び副会長の選出

- ・委員の互選により、会長に田口和人委員、副会長に清田敏治委員を選出。

6 諮問

- ・保志教育長から委員会（委員長）へ諮問【資料2】

7 議題

- ・議事に入る前に、みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会規則【資料1】について事務局より確認。

- ① 議事進行は、みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会規則第6条第1項の規定により、委員長が議長を務める。
- ② みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会規則第6条第2項の規定により、本日の委員会は過半数以上の委員の出席により成立する。

(1) みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会運営要綱（案）について

- ・資料3に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、特になく、原案のとおり承認。

(2) みどり市立学校適正規模及び適正配置に関する基本方針の策定について

- (3) みどり市立学校の現状と課題
- (4) アンケート調査の概要について

- ・資料4～資料6、及び別添資料1～7に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

(2) みどり市立学校適正規模及び適正配置に関する基本方針の策定について【資料4】	
発言者	発言内容
議長（委員長）	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見などがありましたら、挙手をお願いいたします。本日は、第1回目の会議ということで、イメージの共有ということが非常に大事になると思います。</p> <p>平成22年の第1次基本方針から10年以上経ったところで、今回の基本方針は具体的なところではなく、土台としての基本的な考え方を定めるものだというところがポイントになると思います。</p> <p>皆さんが感じるところをご発言いただければと思いますので、忌憚のないご意見をよろしく願います。いかがでしょうか。</p>

議長（委員長）	<p>では、私から意見を申し上げます。</p> <p>土台を作るということになるとそれなりの議論が必要となると思います。</p> <p>まず、第1次基本方針での小規模校化と大規模校化への対応については、ここまでで一区切りついたという解釈をしてよいでしょうか。また、第1次基本方針における考え方などは引き継ぎながら、今回の議論をしていくということでのよろしいかを確認します。</p>
事務局	<p>第1次方針は、喫緊の課題となっていた小規模校と大規模校に対する具体的な方策という意味合いが強いものだと考えています。今回の方針は、市内すべての学校について、将来を見据えた適正な学校規模や学校配置に係るみどり市としての基本的な考え方を定めるものであり、今後の具体的な方策を練っていくための土台となるものとしてお考えいただきたい。</p>
議長（委員長）	<p>本方針は、どれくらいの何年くらい先を見てイメージしたらよいか。</p>
事務局	<p>教育委員会としては、20年程度先を見据えて考えていきたい。</p>
教育長	<p>方針策定後の地区別検討委員会のことを考慮すると、5年先、10年先の近いところもイメージとしてはもっていないといけないと考えています。</p> <p>第1次方針の時は、複式学級が多く存在していましたが、現時点での今後も推計では、この後はそこまでいかないのではないかと思います。</p> <p>あまり、的を絞りすぎてもよくないと考えています。</p>
議長（委員長）	<p>資料4（7ページ）に検討のスケジュールがありますが、来年の7月には答申を行うことになっています。本日を除いて、あと6回の委員会で決めていかななくてはいけないので、検討の内容について事務局よりもう少し詳しく説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>－事務局より、資料4（7ページ）下段の検討内容について説明－</p>
委員	<p>素朴な疑問として、今回の基本方針はみどり市全体としてどうかというものだという説明がありましたが、今の検討内容を見ると具体案を検討するのかという感じがします。</p> <p>みどり市の課題としては、全体の平均値で検討することができないということが問題なのであって、基本方針の中にもある程度具体的な方向性を入れていった方がよいのではないかと感じました。</p>
議長（委員長）	<p>「森を見ながら木を見て、木を見ながら森を見る」というような視点が必要なのだと思います。</p>
(3) みどり市立学校の現状と課題【資料5】	
議長（委員長）	<p>現在の状況については、大きく3つに分けられると思います。1つは人口の推移、2つ目はそれに伴う学校規模の問題、3つ目は小規模校化に伴うメリットとデメリットについてです。説明について、ご不明な点やご意見等は何かございますか。</p>
議長（委員長）	<p>資料9ページの地区別の人口について、2015年までの推移が示されており、大間々地区と東地区は減少傾向にあり、笠懸地区は増加傾向にあるが、全体として人口は減っていく。つまり、大間々と東の減少を笠懸だけではカバーしきれていないという理解でよろしいかと思います。</p> <p>人口の状況としては、産業の問題や就労問題などいろいろな問題があるのだと思いますが、委員の皆さん、ラフな感じで構いませんので、ご意見等があればお願いします。</p>

委員	<p>個人的な意見としては、人口が減るのは間違いないと思いますが、これからはそれが当たり前の「新時代」になってくると考えています。その新時代に対応した方策を考えていくことが大切だと思います。</p> <p>学校の適正規模なども大切ですが、教育システムの抜本的な改革なども考えていかななくてははいけない。学校規模適正化などにとどまらない、臨機応変な教育システムも同時に考えていかななくてはならないのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、小規模校、中規模校に児童生徒は普通に通うが、先生だけが流動的にいろいろな学校へ行くなどはどうか。または、市内全校に一斉にオンラインで授業配信をするなど、いろいろなことが考えられると思います。</p> <p>大間々東小学校では、昨年度特別な能力や経験を持つ講師とオンラインで結び授業を行いました。東京からオンラインでつないでいるのに、大間々東小学校だけが独占している状態だったので、非常にもったいないと感じた。そういったことをうまく使っていけば、小規模校のデメリットなどはすべて消していけるのではないのでしょうか。</p> <p>移動でスクールバスを使いますが、そのバスの中で授業ができれば移動時間が無駄にならないというような、従来無かった発想を同時に考えていくことが大事になると思います。学校の様子を見てみると、普段から非常に柔軟性が無いと感じています。</p> <p>これまでの戦後の教育はあまり変わっておらず、先生も年に1回の研修を行えばついていける程度の変化でしたが、新時代では、変化が早すぎてテクノロジーが先行し、年に1回程度の研修ではついていけない時代。無茶な理想論ということは承知の上で話しますが、一般社会で働いている人と学校の先生の常識が違いすぎて、言語すら通じないというような状況を払拭していけるようなきっかけとなればよいと思います。</p> <p>極端な話、体育館にエアコンをつける程度の予算で適正規模を決めてよいのではと考えています。適正規模を決めてしまってから、そこで何ができるかを考えた方が早いのではないのでしょうか。</p>
議長（委員長）	<p>実現の可能性うんぬんではなくて、イメージを膨らませていろいろな考えを出し合うのはよいと思います。</p>
委員	<p>学校の規模の話がありましたが、みどり市の現状としては全体として減っていくことが分かっているので、上の基準ではなく、下の基準を考えていかななくてははいけないと思います。また、本方針のイメージする年数としては、比較的長めのスパンで考えるということでしたが、大間々東小学校は、R5からR10までで児童数が3分の2に減っています。大間々北小学校と笠懸東小学校も4分の3に減っています。このことが分かっているのに、そのことは本委員会では議論せずに、土台の部分だけの議論でよいのかと感じます。</p>
委員	<p>ここで議論する時に、教育委員会として持っている方針の方向性と全くずれたところで議論しても机上の空論で終わってしまうのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>次回の第2回委員会の中で、教育委員会としてのベースとなる考え方をお示しする予定であります。また、別添資料3にある令和22年までの児童数推計をご覧いただいております。今後児童数は減少するという予測です。将来を見据えた方針を議論する際には、先ほどご意見をいただきましたように、現時点での状況や課題を踏まえた上で、将来につながる方針を考えてい</p>

事務局	<p>くことが必要になると思います。</p> <p>つまり、児童生徒数が減っていく中で、どの程度の数や規模になったら統廃合などを検討し始めるというようなところが、皆様からのご意見をいただきたいところです。</p>
議長（委員長）	<p>教育長さんを含めてお伺いしたいのですが、ここでの議論にはお金の問題は考慮しなくてよろしいのでしょうか。また、小規模校化した場合の教員の配置数、つまり人件費についてはどう考えたらよいのでしょうか。</p> <p>みどり市としては、現状として教員の配置としてはどのようになっていますか。</p>
事務局	<p>現状としては、ニューノーマルGCPによる特配や複式解消などの県費による特配や、学力向上支援員など市費による独自の配置を行っています。他市に比べてみどり市は手厚い配置を行っていると考えています。</p>
教育長	<p>予算については、現状から大きく上回って予算配置することは難しいと考えており、スクラップ&ビルドが必要になると思います。みどり市の教育費はかなり豊かな予算をつけていただいています。</p> <p>先ほどご意見をいただいた新時代の教育システムなど、新たなアイデアはとても必要なものだと思います。</p> <p>また、現時点での予測として児童生徒数の推移を提示させていただいていますが、予測したよりも児童生徒数が減らない可能性もありますし、逆に予想外に大きく減少することも考えられます。そうした中で、新しいアイデアや斬新な対応などが必要になってくると思います。アイデアを出さないと実現には結びつかないため、委員の皆様には大切にさせていただきたい視点だと考えます。それが実現可能かどうかは、別に協議をしなくてはいけないことですが、初めから「これは無理だな」ということで意見を言うのをやめないでほしいと思います。</p> <p>それから、かつての神梅小学校のように、複数の学年で複式学級となるような状況になった場合、地域からは1日でも早くこの状況を改善してほしいという声があがってきます。やはり、複式学級という状況は、アイデアによってクリアできるかという限界があるように思いますので、複式学級が複数の学年でおこってくるという状況が1つの基準にはなってくると思います。ただ、現状としては、そこまではいかないのではないかと状況です。</p> <p>また、あずま小中学校のように、義務教育学校への移行によって小規模校化への対応をしていることは他市も含めて事実であります。</p> <p>（市内で統廃合を行った地域を見ると）スクールバスを回しても1時間以上もかけて通っている児童生徒もおり、スクールバスだけの対応は難しいため、遠くの小学校の統廃合ではなく、小中学校の義務教育学校への移行により解消が図れることも考えていきたいということもご理解いただきたい。</p>
議長（委員長）	<p>小規模校のメリット、デメリットについては、疑問の余地が残る部分もあります。私自身は出身が鹿児島県の離島であり、小規模校や複式学級の経験や大規模校へ移ったときの経験もあります。それを教育の効果として考えなくてはいけないと思いますが、その雰囲気は分かります。</p>

(4) アンケート調査の概要について【資料6】	
議長（委員長）	<p>中学校向けのアンケートが示されていませんが、中学校の部活動問題については、課題があると思っています。</p> <p>現在の部活動の状況としては、どのような感じなのでしょうか。</p>
委員（中学校長）	<p>例えば野球部では、かつては花形として部員数も多かったのですが、現在では、1つの学校ではチームを組むことができず、近隣の学校と合同チームを作って大会に出ているという現状があります。</p> <p>また、現在は部活動の地域移行ということが進められています。学校の教員がこれまで当たり前のようにやってきた「顧問」ですが、教員の働き方改革の問題があり、今後部活の指導主体を地域に移行していこうという流れがあります。</p>
議長（委員長）	<p>アンケートの実施スケジュールは、現時点では7月10日からとなっていますので、ご意見等があればお願いします。</p>
委員	<p>小規模校に関する義務教育学校への移行は、すでに行ったところですが、中規模校についても義務教育学校への移行は考えていってもよいのではないのでしょうか。例えば、大間々東小学校と大間々東中学校は近いので、条件的にはよいのではないかと思います。</p> <p>教育委員会としては、義務教育学校への移行は小規模校への対応ということだけで考えているのでしょうか。</p>
教育長	<p>方法論の1つとしては、小規模校への対策というだけではなく、中規模校でも考えていく必要があると考えています。</p>
委員	<p>この委員会の位置付けを踏まえてのことになります。この委員会の名称もそうですが、このアンケートは、人口動態や地域の分布、お金の問題で配置が決まってしまうように見えます。</p> <p>人口動態で決まるというスタンスでこの委員会が進むのかどうか、また、先ほどオンラインのアイデアがありましたが、教育システムについても何か意見を出すべきなのかが、このアンケートでは質問されていませんが、そういったことは聞かなくてよいのかと思います。</p> <p>また、みどり市としては、理想としてどのような子どもを育てたいのかということによって、適正規模や配置、教育システムが決まるのではないのでしょうか。</p> <p>そういったアンバランスさを感じます。ブロードになればなるほど、結局動態だけで決まってしまうような気がします。教育委員会としては、それをどのように考えるのかを決めていただきたい。それに合わせてこのアンケートの内容も考えていただくとバランスも良くなり、面白い意見やより広い意見が取れるのではないかと思います。</p> <p>また、小学校のアンケートで小学校のことだけを聞く必要はないと思います。小学生は、必ず中学校へ進学するので、中学校でこうなっていたら良いというような希望が含まれていて良いと思いますし、逆に中学生の方でも、小学生の時、このようなことがあったら良かったとか、こういったところは良かったなどの意見も聞けるとよいと思います。</p> <p>そういった点も踏まえてアンケートの内容を検討すると、この委員会の位置付けにもなると思います。</p>

議長（委員長）	アンケートを取った上で、それが今後どのように反映されていくのかという位置付けも大切だと思います。アンケートの結果によって、今後も議論が縛られるようなことも考えられますが、事務局としてはどのように考えているのでしょうか。
事務局	いろいろなご意見をいただきありがとうございます。当初は、7月10日からの調査実施を考えておりましたが、アンケートの内容についてはもう一度じっくりと吟味する必要があると思いますので、事務局としてよく練り直した上で、新しいアンケートの案を委員の皆様へ郵送等でお送りし、再度、ご意見をいただいた上で内容を決定したいと思います。いかがでしょうか。
議長（委員長）	委員は、郵送でいただいた案について、もう一度意見を言って、それを反映できるということによろしいでしょうか。
事務局	スケジュールとしては、第2回に結果をまとめるとなるとかなり忙しいとは思いますが、ご意見を反映させたアンケートの実施は、可能だと思います。
教育長	第2回の委員会に間に合わないとしてもアンケートの内容をじっくりと見直した上で実施したいと思います。
委員	第2回委員会の実施日をもっと遅らせればよいではないでしょうか。
学校教育課長	<p>次回の第2回委員会の中で、教育委員会としての基本的な考え方をお示するという話をいたしました。それが出てきますとこの場でいろいろな意見が出されると思います。アンケートについては、一度のやりとりで皆さんが思い描いているようなものができあがるのか、不安なところがあります。</p> <p>そこで、代案としては、第2回委員会の中でまず基本的な考え方について議論した後に、アンケート案を提示させていただき、そこで話し合ってくださいと良いのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
議長（委員長）	第2回委員会において、アンケート案について話し合い、アンケートの実施はもう少し遅らせるということによろしいでしょうか。
議長（委員長）	市民の意識調査や意見などを取る機会が、今回が唯一だと考えられますので、アンケートの内容については時間をかけてじっくりと吟味した上で実施するのがよろしいかと思っております。第2回委員会の事前配布資料として、アンケート案を事前に郵送していただき、委員の皆さんはよく目を通してきて、委員会当日は説明なしですぐに議論できるようにしておくということによろしいでしょうか。また、アンケート実施時期をずらすことによって、委員会全体のスケジュール感も変わってくると思っておりますので、事務局で組み直したスケジュールについても改めて提示をお願いします。
委員	この委員会での資料や議論の内容は、どこまで公開してよろしいのでしょうか。例えば、市P連の中で資料や話し合いの内容などを共有してよろしいければ、この委員会に参加していないPTA会長さんの意見もお聞きできるのではないかと思います。
教育長	資料や議事録は、市ホームページでも公開していく予定ですので、基本的にはすべて公開していただいて構いません。教育委員会としましても、広く市民の皆様へ公開し、周知できるように準備してまいりたいと思っております。それぞれの委員さんの母体となっている組織・団体の方でも情報を共有していただき、話し合ったことをまたこの委員会の中でお話しただけだと良いと思っております。

8 その他

9 諸連絡

第2回委員会 日時 令和5年10月5日(木) 19:00～

会場 みどり市役所 教育庁舎 3階 第1会議室

10 閉会